

2017年6月14日

McLaren 570S Spider: 妥協なきコンバーチブル

- 570S Coupé の高性能かつダイナミックな特性とエレガントさに加え、爽快なオープンエア・ドライビングを実現
- マクラーレン・スポーツシリーズで Coupé、GT に続く第 3 のボディスタイル
- 英国で 2017 年 6 月 29 日から 7 月 2 日 まで開催される、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードにおいて世界デビュー
- McLaren 650S、675LT Spiders に装備され高い評価を得た技術であるリトラクタブル・ハード・トップ(RHT)を採用
- 構造全体の強度はそのままに、重量は 570S Coupé を 46kg 上回るのみ
- ルーフの開閉は時速 40 キロに到達するまで可能で、わずか 15 秒で完了
- ガラスの電動式リアウインドウ/ウインドウデフレクターを採用
- カーボン・ファイバー製の構造にミッドエンジンのドライブレイン・レイアウトと McLaren ダイヘドラル・ドアを組み合わせた、マクラーレン独自の構成
- リア・スポイラーを Coupé より 12mm 高くすることで、車体形状の変化に対応
- 3.8 リッターの McLaren V8 ツインターボ・エンジンと 7 速シームレスシフト・ギアボックス(SSG)により、クラストップレベルの最高出力 570PS、最大トルク 600Nm を実現
- 570S Coupé 同様、0-100km/h 加速 3.2 秒、最高速度 328km/h。ルーフを下げた状態での最高速度は 315km/h
- 720S のローンチモデルの好評を受け、Spiders の最初の 400 台はローンチエディションモデルとして生産
- オーダーは受付が開始され、車両本体価格は 28,988,000 円(税込)から

新登場の McLaren 570S Spider では、570S Coupé の比類なきダイナミズムとエレガントさに加え、爽快なオープンエア・ドライビングを楽しむことができます。英国・ウォーキングにおいて手作業で組み立てられた 570S Spider は、これまでで最高の性能を誇る McLaren Spider であり、カーボン・ファイバー製の構造やミッドエンジンのレイアウト、極限の性能といったスーパーカーのようなパフォーマンスを、高級スポーツ・コンバーチブルのセグメントに初めてもたらすクルマです。

ツーシーターで後輪駆動の 570S Spider は、マクラーレン・スポーツシリーズにおいて Coupé、GT に続く第 3 のボディスタイルです。Coupé との比較では、570S Spider には、リトラクタブル・ハードトップが美しく組み込まれており、ルーフを下げた時には、ドライブの真の楽しさと爽快な気分を味わうことができます。軽量の 2 つの複合パネルで構成されたルーフには、McLaren 650S および 675LT Spiders に装備され、高い評価を得た技術が採用されており、ルーフを下げた時も上げた時も、流線型の凜とした外観が保たれます。さらに特筆すべきは、性能上の妥協が一切ない点で、圧倒的なスピード、比類なきダイナミズム、エレガントさといった、570S Coupé の特性がそのまま Spider でも受け継がれています。スポーツシリーズのモデルに共通するカーボン・ファイバー製のモノセル II シャシーは、コンバーチブルの形状でも強度が損なわれず、構造補強を施す必要がありません。そのため、マクラーレンのエンジニアたちは、スチールやアルミニウムの構造に付きものの強度不足に煩わされることなく、570S Spider の設計および開発に取り組むことができました。

マクラーレン・オートモーティブの CEO マイク・フルーウィット (Mike Flewitt) は次のようにコメントしています。「McLaren 570S Spider は、これまでで最高の性能を誇る McLaren Spider であり、さらに新たな魅力をマクラーレン・スポーツシリーズにもたらしめます。このクルマは妥協のないコンバーチブルであり、ミッドエンジンのレイアウトとカーボン・ファイバー製のモノセル II シャシーが、570S Coupé 同様、スリリングなダイナミズムとクルマとの比類なき一体感を生み出しますが、さらにリトラクタブル・ハードトップが、ルーフを下げたときの爽快感ももたらしてくれます」

ルーフはドライバーシートからシンプルな方法で電動操作ができ、畳む際には美しい仕上げのトノカバーの下に簡単に収容されます。その際、このトノカバーは、自動的に上昇して下部パネルを収容し、その後ソフトクローズ技術によって、ルーフを閉じたときのポジションに戻ります。ルーフはわずか 15 秒で開閉でき、時速 40 キロに到達するまで操作が可能です。

ウィンドウデフレクターは電動式で、ボタンを押すだけで上下でき、ルーフをより自由に作動させることが可能です。オープン時は、デフレクターが風の衝撃を軽減します。また、ルーフが上がっているときには、デフレクターを下げることで、エンジン音をより楽しんだり、新鮮な空気を車内に取り込んだりすることもできます。この新しい Spider の独特なエキゾースト・サウンドをさらに楽しみたいお客さまには、トノカバーの下を通してエキゾースト・サウンドを車内に送り込む、エキゾースト・サウンド・ジェネレーター (ESG) がオプションとして用意されています。

リトラクタブル・ハードトップは、きわめて過酷な条件下でも耐えられるように設計されており、ソフトトップに比べて耐候性に優れ、色あせがしにくくなっています。また、この作動メカニズムを搭載した重量は Spider をわずか 46kg 上回るのみで、これが新しいコンバーチブルと 570S Coupé の重量差の唯一の理由です。

スーパーカー並みの性能

軽量のカーボン・ファイバー構造と圧倒的なパワーを持つ 3.8 リッターの McLaren V8 ツインターボ・エンジンが搭載された、新しい 570S Spider は、ライバルのコンバーチブルと比べてパワフルかつ軽量であるほか、パワーウェイトレシオも 419PS/t (最も軽い乾燥重量) と優れております。ドライバーの後ろに配置されている McLaren M838TE ツインターボ・エンジンは、最高出力が 570ps/7,500 rpm、最大トルクが 600Nm/5,000-6,500rpm です。ローンチ・コントロール技術を採用した、迅速かつスムーズな SSG との組み合わせにより、高級スポーツ・コンバーチブルでありながら、加速はスーパーカー並みであり、停止状態から時速 100km までの加速は 3.2 秒、時速 200km までの加速はわずか 9.6 秒です。ルーフを付けた状態での最高速度は 570S Coupé と同じ 328km/h で、ルーフを下げた状態でも、新しい Spider の最高速度は 315km/h にも達します。この極めて高い性能をさらに補完しているのが、燃費効率そのものを向上させるストップ・スタート・システムで、570S Spider の場合、新欧州ドライビングサイクル (NEDC) での燃費は 10.7 リットル/100km (26.6mpg) で、CO2 排出量はわずか 249g/km です。

比類なき車体制御

マクラーレンの新しい Spider では、フロントとリアの両方でレーシングカースタイルのダブル・ウィッシュボーン・サスペンションを採用しており、スチール製のスプリング、ツインバルブのアダプティブ・ダンパー並びにアンチロール・バーは 570S Coupé の既存の仕様と同様です。車体制御に優れ、ドライブそのものが純粋な魅力と喜びに満ちており、さらに高い快適さも維持されています。アクティブ・ダイナミック・パネルでは自分に合ったモードを選択でき、ドライバーは、ノーマル、スポーツ、トラックのいずれかのモードを選ぶことで、サスペンションの硬さを自分の好みに合わせることができます。このような多様性を備えた Spider は、日常での使用にも、サーキットでの走行にも適しています。

McLaren 570S Spider には、電動油圧式パワー・ステアリング、カーボンセラミックのブレーキならびにピレリ P ゼロ (Pirelli P ZERO™) コルサ・タイヤが標準装備されており、最新のシャシー・ソフトウェアがドライビング・

エクスペリエンスと安全性をさらに高めます。元々は Formula 1™ 用に開発されたブレーキステアは、コーナリング時に後輪の内側をわずかに制動することでコーナリングを滑らかにし、アンダーステアを抑制します。また、マクラーレンが独自に設定したパフォーマンス・トラクション・コントロールは、極限状態でも正確な制御を可能にし、電子安定性制御(ESC)には、システムの干渉を減らし、「ドリフトのしやすさ」を高める「ダイナミック」モードも含まれているため、ドライバーは、570S Spider のダイナミックなポテンシャルをフルに発揮させることができます。

デザインのカスタマイズ

魅力的なボディ・デザインでは、リアのスポイラーに改良が施されており、ダーク・パラディウム・グレーの仕上げ（カーボン・ファイバーが露出した仕上げも追加料金でマクラーレン・スペシャル・オペレーションに注文可能）、570S Coupé と比べてもリアのスポイラーが 12mm 高くなっています。これにより、ダウンフォースが増加し、リア上部のデザインが変更されたことで生じる、空気力学面での変化に対応でき、結果的に空気力学面での全体的なバランスは、Coupé に匹敵するような比類なきレベルに保たれます。

ドライバーシートを中央に置いて完璧なドライビングを可能にするデザインが目を引き洗練されたキャビンには、きわめて高いレベルの職人技、品質、技術が集約されています。シート、ドアのケーシング、ダッシュボード並びに中央のコンソールの手縫いレザー、またコンソールの横には 10 インチ TFT 液晶のメイン・インストルメント・クラスターがあり、中央に搭載されている 7 インチ IRIS タッチスクリーンを通じて、空調およびインフォテインメントの機能を調整することができます。

電動メモリーシートは、標準装備では 6 通りに調整でき、オプション装備では 8 通りに調整可能で、追加費用で豪華なナッパ・レザー、または性能重視のアルカンターラ(Alcantara®)のトリムのいずれかを選ぶことができます。また、McLaren P1™ と同じ、カーボン・ファイバー・シェルを使用した軽量のスポーツシートも選択することができます。

Spider の登場に合わせて、キュラソー・ブルー、ベガ・ブルーおよびシシリアン・イエローという 3 つの鮮やかな外装色が、スポーツシリーズのカラー・パレットに新たに加わったことにより、Spider を購入するお客さまは、計 20 色の中から車体の色を選択できるようになりました。これらの新色は、アルミニウム製の車体が生み出す、複雑な形状と独特なディヘドラル・ドアをドラマチックに演出し、ルーフ、ウィンドウスクリーン・ピラーおよびリアのバットレスにコントラストの効いた、ダーク・パラディウム・グレー(オプション)を配すると、視覚的な効果がさらに引き立ちます。

570S Spider には、10 スポークの軽量合金製ホイールの新デザイン(フロント:19 インチ、リア:20 インチ)もオプションとして用意されています。さらに、ブレーキキャリパーには、新色のリキッド・ブラックを使用することもできます。

現在、570S Spider は全世界 80 以上のマクラーレン正規販売店でオーダー受け付けを開始し、1 台 1 台が英国・ウーキングのマクラーレン・プロダクション・センターにおいて手作業で組み立てられます。

新しい McLaren 570S Spider は、7 月 29 日より英国ウェストサセックス州で開催される、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードで公開され、秋以降にお客様へのデリバリーを開始する予定です。

McLaren 570S Spider テクニカルスペック

エンジン形態	M838TE エンジン、3.8 リッターV 型 8 気筒ツインターボ/3,799cc
ドライブトレイン・レイアウト	縦置きミッドエンジン、RWD
最高出力	570 PS (562 bhp//419 kW) @7,500 rpm
最大トルク	600 Nm (443 lbs ft) @ 5,000-6500 rpm
トランスミッション	7 速シームレスシフト・ギアボックス(SSG)
サスペンション	独立型アダプティブ・ダンパー、ダブル・ウィッシュボーン・サスペンション(ノーマル、スポーツおよびトラックの 3 モード)
ステアリング	電動油圧式パワー・ステアリング
ブレーキ	カーボン・セラミック・ディスク(フロント: 394mm、リア: 380mm)、アルミニウム製ブレーキキャリパー(フロント: 6 ピストン、リア: 4 ピストン)
ホイール(インチ)	フロント 8J x 19/リア 10J x 20
タイヤ	フロント 225/35/R19、リア: 285/35/R20
全長	4,530 mm
ホイールベース	2,670 mm
全高	1,202 mm
全幅(ミラー展開時)	2,095 mm
全幅(ミラー収納時)	2,045 mm
全幅(ミラー取り外し時)	1,930 mm
トレッド(接地面の中心間の距離)	フロント: 1,673mm、リア: 1,618mm
乾燥重量(最軽量時)	1,359 kg
車両重量(DIN)[オイル類 +ガソリン 90%]	1,498 kg
荷室容量	フロント 150L、リア 52L

パフォーマンス・データ* 加速

0 -60 mph	3.1 秒
0-100 km/h (0-62mph)	3.2 秒
0-200 km/h (0-124mph)	9.6 秒
0-400 m / ¼ mile	11.0 秒
最高速度(ルーフを上げた状態/下げた状態)	328 km/h / 315 km/h
ブレーキング 200 – 0 km/h	5.3 秒 / 130 m
ブレーキング 100 – 0 km/h	3.2 秒 / 32 m

効率性

CO2 排出量[NEDC]	249 g/km
燃費 – (EU l/100 km/UK MPG)	
複合サイクル	10.7 l /100km (26.4 mpg**)
市街地	17.2 l /100km (16.6 mpg**)
郊外	7.4 l /100km (38.4 mpg**)

*すべての数値は変更される場合があります。

**MPG(英国)は、公式な要件ではありませんので、換算値を掲載しています。

マクラーレン・オートモーティブについて:

マクラーレン・オートモーティブは、ラグジュアリーかつハイパフォーマンスなスポーツカーを製造する英国の自動車メーカーで、サリー州ウォーキングのマクラーレン・テクノロジー・センター(MTC)を拠点としています。マクラーレンは車両製造にいち早くカーボン・ファイバーを採用し、30年にわたる経験を有しています。1981年のMcLaren MP4/1や、1993年のMcLaren F1といったレーシングカーやロードカーにカーボン・シャシーを導入しており、これまでマクラーレンが製造した車両はすべてカーボン・ファイバー・シャシーが採用されています。

マクラーレン・オートモーティブは2010年の設立後、2011年に画期的なMcLaren 12Cの発表を皮切りに、2012年に12C Spider、2013年に限定生産のMcLaren P1™を発表しました。毎年新型モデルを導入するという計画を掲げ、2014年にはMcLaren 650S Coupeと650S Spiderを発表し、さらに2015年には前例のない製品ポートフォリオの拡大で、フルレンジにわたり5つのニューモデルがデビューしました。完全限定生産の675LT Coupéがジュネーブ・モーターショーで公開されたほか、サーキット専用で、最高出力が1,000PSであるMcLaren P1™ GTRが、ブランド史上もっともパワフルなモデルとして登場しました。多くの期待を集めていたスポーツシリーズは、マクラーレンの3つ目にして最後のモデル・カテゴリーであり、570S Coupéと540C Coupéがそれぞれニューヨークと上海で1か月のうちに次々とデビューしました。この年の最後には、お客様のご要望に応えるかたちで、5番目のモデルである675LT Spiderも発表されました。この年には、シリーズの最初のモデルであるMcLaren P1™の375台目の生産も完了し、マクラーレン・ブランドにとって記録づくめとなる1年を締めくくりました。2015年に発表したスポーツシリーズの2番目となるポディスタイルで、マクラーレン・モデルのなかでもっともラグジュアリーな570GTに続き、2016年はトラック用に変更した570S GT4や570S Sprintを発表しました。この年にマクラーレン・オートモーティブは新しいビジネス・プラン'Track22'を掲げ、研究開発に総額10億ポンドを投資し、2022年までに15車種の新型/派生モデルを発表する予定となっております。また、マクラーレン・モデルの少なくとも50%にハイブリット技術を搭載します。2016年にはマクラーレン・プロダクション・センターにおいてセカンド・シフト制を導入したのを受け、売り上げが増加、過去6年間で3度目の最高益更新となりました。2017年3月には、第2世代のマクラーレン・スーパーシリーズである720Sがジュネーブ国際モーターショーで世界デビューを果たしました。

マクラーレン・オートモーティブの技術パートナー:

革新的で高い評価を獲得しているスポーツカー・ラインアップの開発、エンジニアリング、製造においてマクラーレン・オートモーティブは専門的なノウハウと技術を提供する世界トップレベルの企業と提携しています。主なパートナーは、アクゾノーベル、ケンウッド、ピレリ、リシャール・ミル、SAPなどです。

マクラーレン・オートモーティブの日本オフィシャルウェブサイトおよび日本オフィシャルフェイスブックは下記のURLからご覧いただけます。

オフィシャルウェブサイト: <http://jp.cars.mclaren.com/>

オフィシャルフェイスブック: <https://www.facebook.com/mclarenautomotiveJP>

本件に関するお問い合わせ先

マクラーレン・オートモーティブ・アジア 日本支社

担当: 名取雅裕

TEL 03-6675-4313

または

マクラーレン広報事務局 (オグルヴィ PR)

担当: 牧平香織、中山奈央子

TEL 03-5793-2377 / Mail mclaren.pr.tokyo@ogilvy.com